

第6次宇土市総合計画策定に向けた 市外住民アンケート調査 報告書

平成30年3月 宇土市企画課

調査概要	2
対象者プロフィール	3
調査結果のまとめ	4
調査結果の詳細	
宇土市の認知度/訪問経験	6
宇土市の情報の入手経路	8
宇土市訪問時の他の訪問地域	9
訪れてみたい観光地や催し	10
同じ地域に2回以上旅行した理由	12
「移住」・「二拠点居住」の予定	14
「移住」・「二拠点居住」のための情報入手経路	15
「移住」・「二拠点居住」をしたい理由	16
「移住」・「二拠点居住」をする場合の重視点	17
「子育てしやすいまち」の環境要素	18

調査の目的

大都市や近隣エリアの市民を対象に、宇土市への訪問状況や訪れてみたい観光地・催し、「移住」・「二拠点居住」への意識などを把握することによって、「宇土市総合計画」策定のための資料とすることを目的としている。

調査対象

東京都・大阪府・福岡県・長崎県・鹿児島県・熊本県（宇土市以外）居住の20～39歳男女個人

サンプル設計

合計	600サンプル	東京都	100
		大阪府	100
		福岡県	100
		長崎県	100
		鹿児島県	100
		熊本県(宇土市以外)	100

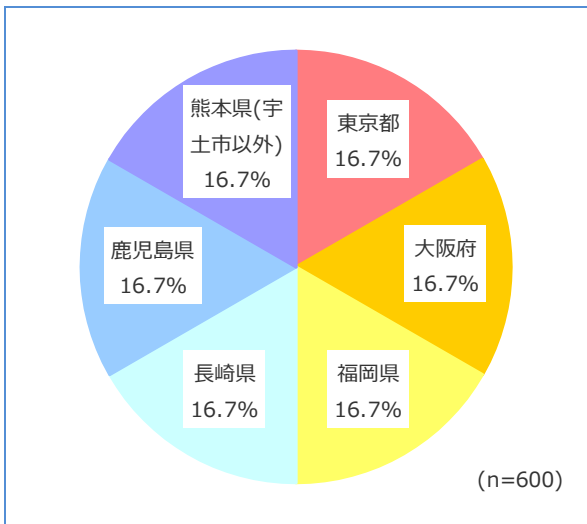
調査手法

インターネット調査

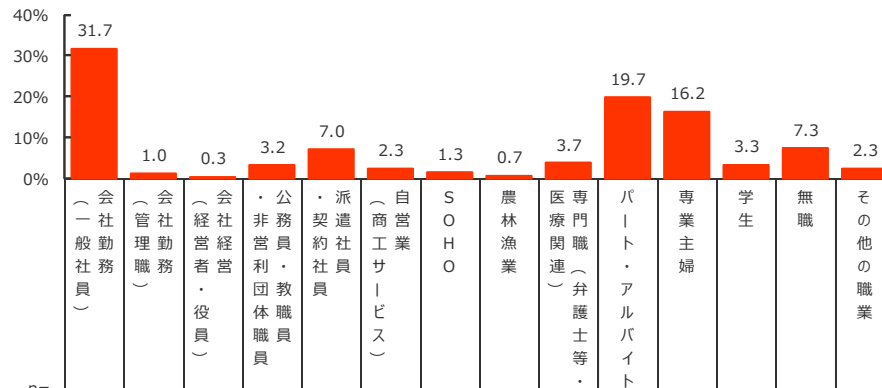
調査期間

2018年 2月 15日（木）～ 16日（金）

居住地



職業



	n	会社(一般社員)	会社(管理職)	会社(経営者・役員)	公務員・非営利団体職員	派遣社員・契約社員	自営業(商工サービス)	S O H O	農林漁業	医療関連(弁護士等)	パート・アルバイト	専業主婦	学生	無職	その他の職業
全 体	600	31.7	1.0	0.3	3.2	7.0	2.3	1.3	0.7	3.7	19.7	16.2	3.3	7.3	2.3
東京都	100	42.0	2.0	1.0	3.0	4.0	5.0	1.0	-	1.0	12.0	15.0	3.0	8.0	3.0
大阪府	100	37.0	-	1.0	1.0	7.0	1.0	1.0	-	4.0	16.0	16.0	5.0	8.0	3.0
福岡県	100	34.0	1.0	-	4.0	7.0	4.0	2.0	2.0	4.0	14.0	20.0	3.0	3.0	2.0
長崎県	100	28.0	-	-	1.0	8.0	2.0	-	-	3.0	30.0	18.0	1.0	7.0	2.0
鹿児島県	100	21.0	2.0	-	6.0	8.0	2.0	4.0	1.0	4.0	24.0	14.0	2.0	10.0	2.0
熊本県(宇土市以外)	100	28.0	1.0	-	4.0	8.0	-	-	1.0	6.0	22.0	14.0	6.0	8.0	2.0

性別

	男性	女性
全 体	35.5	64.5
東京都	46.0	54.0
大阪府	38.0	62.0
福岡県	35.0	65.0
長崎県	24.0	76.0
鹿児島県	30.0	70.0
熊本県(宇土市以外)	40.0	60.0

年齢

	20代前半	20代後半	30代前半	30代後半
全 体	8.7	18.5	28.8	44.0
東京都	8.0	21.0	23.0	48.0
大阪府	9.0	18.0	38.0	35.0
福岡県	5.0	21.0	29.0	45.0
長崎県	13.0	21.0	22.0	44.0
鹿児島県	6.0	16.0	31.0	47.0
熊本県(宇土市以外)	11.0	14.0	30.0	45.0

婚姻×子供

	未婚	既婚・子供あり	既婚・子供なし
全 体	53.3	33.2	13.5
東京都	60.0	29.0	11.0
大阪府	57.0	28.0	15.0
福岡県	48.0	35.0	17.0
長崎県	52.0	33.0	15.0
鹿児島県	51.0	37.0	12.0
熊本県(宇土市以外)	52.0	37.0	11.0

宇土市への訪問について

- 宇土市の認知度は、20～30代の東京・大阪居住者で2割前後、九州エリアでは5～6割。認知者の宇土市の情報の入手経路は、友人・知人の口コミが最も多く、次いでテレビ。宇土市役所のホームページは7%に留まる。
- 訪問経験率は東京・大阪とも6%、九州エリアは11～17%、宇土市を除く熊本県では75%と大きな開きがある。熊本県を除くと観光での訪問が多いのは福岡県、鹿児島県など九州エリアであり、東京・大阪はそれぞれ5%・3%程度。
- 宇土市を訪問した時の訪問地域は、熊本市が最も多く半数強を占め、次いで宇城市、天草地域、阿蘇地域など。
- 訪れてみたい観光地や催しは概して女性の方が多く挙げており、①御輿来海岸、②あじさいの湯、③立岡自然公園、④轟水源、⑤うとんイカ祭り・長部田海床路の順。
- 同じ地域に2回以上旅行した理由としては、「食事、食材がおいしかった」「景色が気に入った」「楽しいイベントがあった」などであり、女性は「食事、食材」がとくに多い。

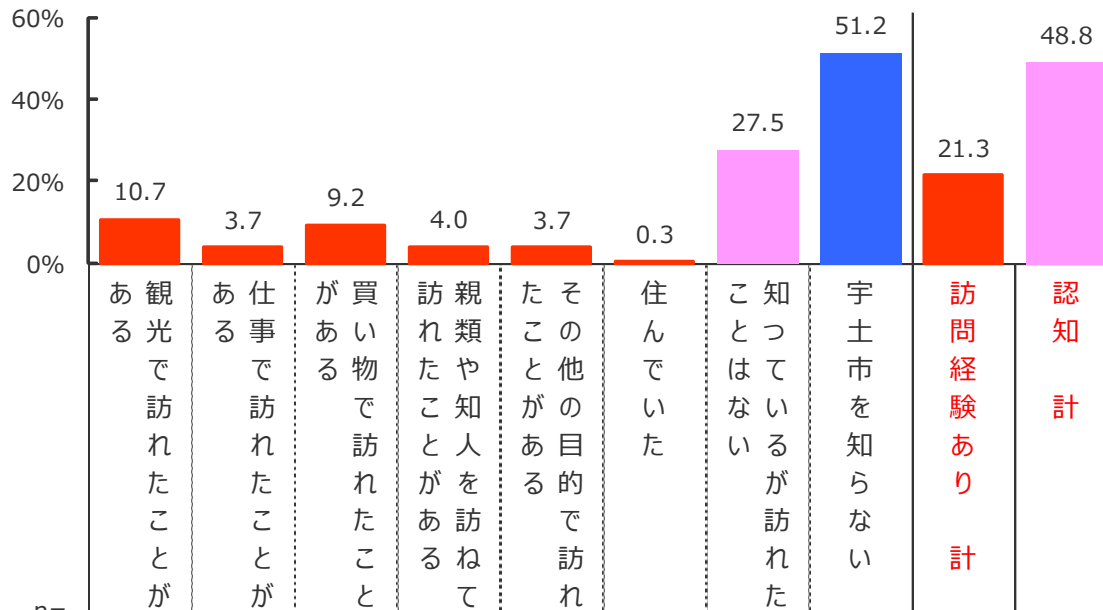
「移住」・「二拠点居住」について

- 「移住」・「二拠点居住」を予定している（した）人は15%、東京・福岡に多く鹿児島に少ない。また、男性と既婚者が多い。
- 情報入手経路は、自治体運営の移住情報ウェブサイトが最も多く、次いで現地訪問、自治体以外が運営する移住情報ウェブサイト。
- 「移住」・「二拠点居住」をしたい理由としては、「ゆとりある生活」「都会に住みたい」「田舎に住みたい」「子育てのため」などの順に多い。
- 「移住」・「二拠点居住」をする場合の重視点は、「交通の利便性」が半数以上に挙げられており、次いで「買い物が便利」「生活コストが安い」で4人に1人が挙げている。
- 「子育てしやすいまち」の環境要素としては「保健・医療体制の充実」「経済的な補助支援の充実」「公園など遊べる場所が多い」の3要素が主に挙げられている。
- 「移住」・「二拠点居住」の予定者は、理由として「ゆとりある生活」「田舎に住みたい」「現在の生活コストが高い」、重視点として「豊かな自然に恵まれていること」「自然災害が少ないこと」、環境として「保健・医療体制の充実」「経済的な補助支援の充実」や「地域の理解」「子育て情報取得のしやすさ」を多く挙げており、より現実的で期待値の高いものと言える。

調査結果の詳細

- ◆ 20~30代の東京・大阪での「宇土市」の認知度は2割前後、九州エリアでは5~6割。
- 訪問経験率は、東京・大阪とも6%、九州エリアは11~17%、宇土市を除く熊本県では75%と大きな開きがある。
- 熊本県を除くと観光での訪問が多いのは福岡県、鹿児島県など九州エリアであり、東京・大阪はそれぞれ5%・3%程度。

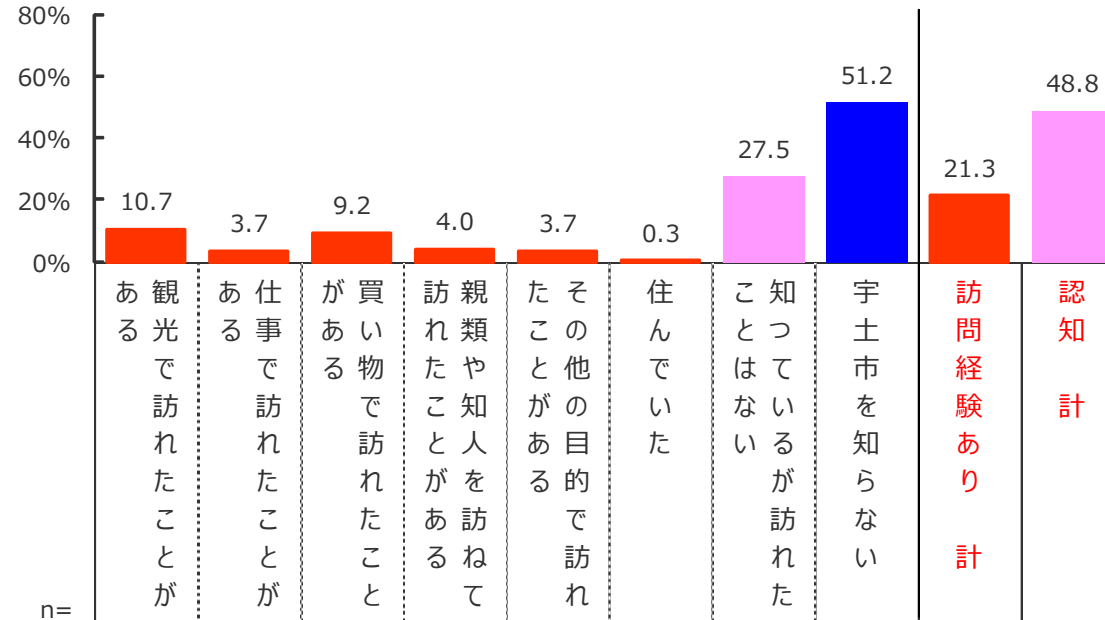
《呈示画像》



	n=	あ観る光で訪れたことが	あ仕事で訪れたことが	が買いたる物で訪れたこと	訪親れたやこ知人が訪ねて	たその他の目的で訪れ	住んでいた	こ知つてはないが訪れた	宇土市を知らない	訪問経験あり計	認知計
全 体	600	10.7	3.7	9.2	4.0	3.7	0.3	27.5	51.2	21.3	48.8
東京都	100	5.0	1.0	-	1.0	-	-	15.0	79.0	6.0	21.0
大阪府	100	3.0	1.0	-	-	2.0	-	11.0	83.0	6.0	17.0
福岡県	100	10.0	4.0	3.0	5.0	2.0	-	34.0	49.0	17.0	51.0
長崎県	100	7.0	5.0	1.0	2.0	1.0	-	47.0	42.0	11.0	58.0
鹿児島県	100	9.0	1.0	2.0	-	2.0	-	37.0	50.0	13.0	50.0
熊本県(宇土市以外)	100	30.0	10.0	49.0	16.0	15.0	2.0	21.0	4.0	75.0	96.0

比率 N=30以上で
 全体+10pt以上
 全体+5pt以上
 全体-5pt以下
 全体-10pt以下

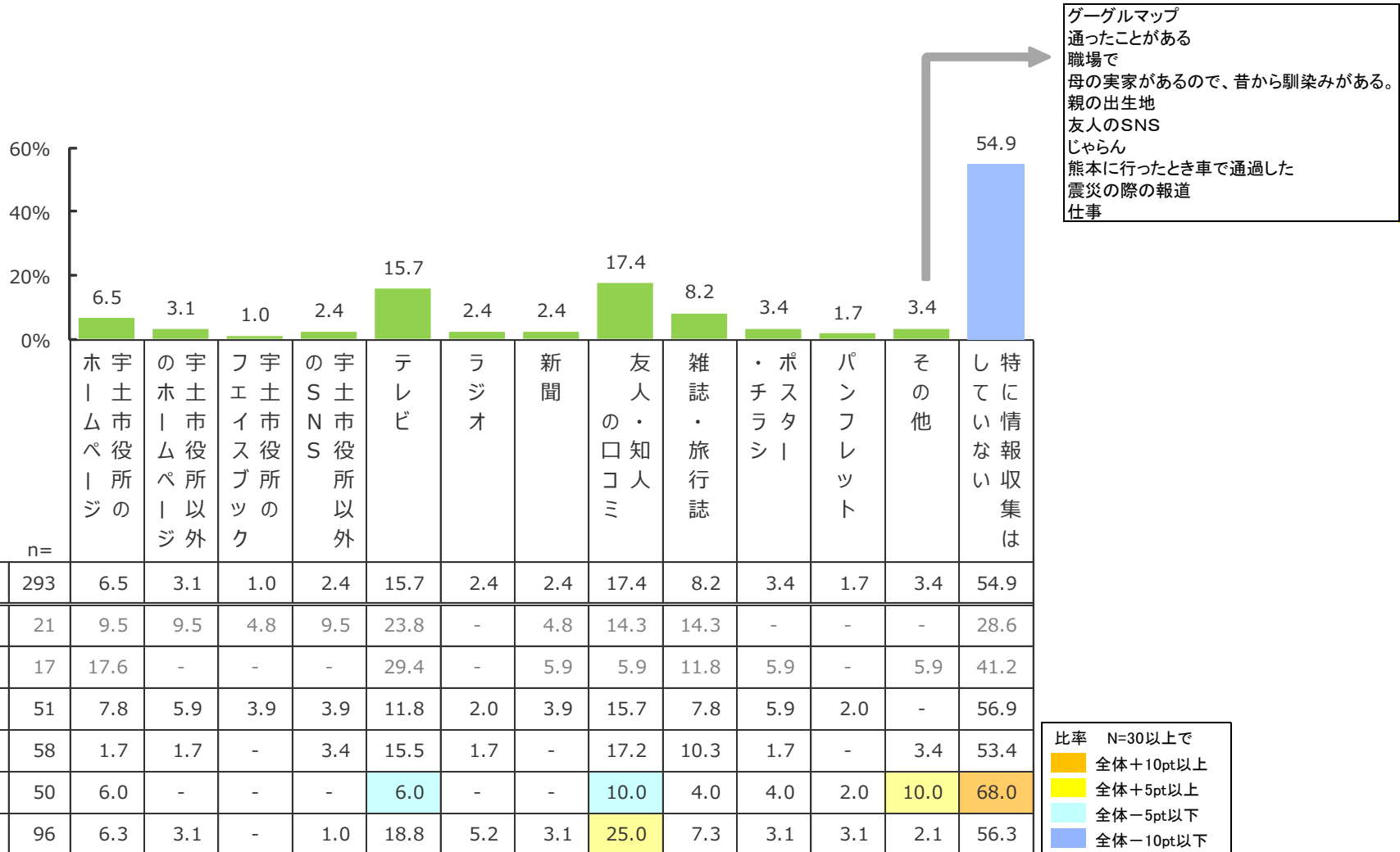
◆ 宇土市の認知度は、性別では**男性**、婚姻別では**既婚者**、**子供あり**の方が高い。 訪問経験率も同様の傾向で24～26%。
 観光目的・ショッピング目的ともに**既婚者**と**子供あり**が高い。



		n=	知る人が訪れたこと	仕事で訪れたこと	買い物で訪れたこと	親類や人が訪ねて	その他の目的で訪れ	住んでいた	知っているが訪れた	宇土市を知らない	訪問経験あり計	認知計
全体		600	10.7	3.7	9.2	4.0	3.7	0.3	27.5	51.2	21.3	48.8
性別	男性	213	10.8	6.1	9.4	5.2	6.6	0.9	30.5	45.5	23.9	54.5
	女性	387	10.6	2.3	9.0	3.4	2.1	-	25.8	54.3	19.9	45.7
婚姻別	未婚	320	9.7	2.2	7.5	4.7	3.8	0.3	25.9	55.0	19.1	45.0
	既婚 (離別・死別含む)	280	11.8	5.4	11.1	3.2	3.6	0.4	29.3	46.8	23.9	53.2
子供の有無別	子供あり	204	12.3	6.4	13.2	3.9	3.9	-	28.9	45.1	26.0	54.9
	なし	396	9.8	2.3	7.1	4.0	3.5	0.5	26.8	54.3	18.9	45.7

比率 N=30以上で
 ■ 全体+10pt以上
 ■ 全体+5pt以上
 ■ 全体-5pt以下
 ■ 全体-10pt以下

◆ 宇土市認知者の宇土市の情報の入手経路は、友人・知人の口コミが最も多く、次いでテレビ。宇土市役所のホームページは7%に留まっている。友人・知人の口コミやテレビが多いのは熊本県（宇土市以外）次いで長崎県と福岡県であり、鹿児島県は少ない。



※n=30未満は参考値のため灰色表示

◆ 宇土市を訪問した時の訪問地域は、熊本市が最も多く半数強を占め、次いで宇城市、天草地域、阿蘇地域など。
参考値ながら、福岡県と長崎県の居住者は熊本市が多く、鹿児島県は熊本市・宇城市・福岡県・阿蘇地域など様々。



※n=30未満は参考値のため灰色表示

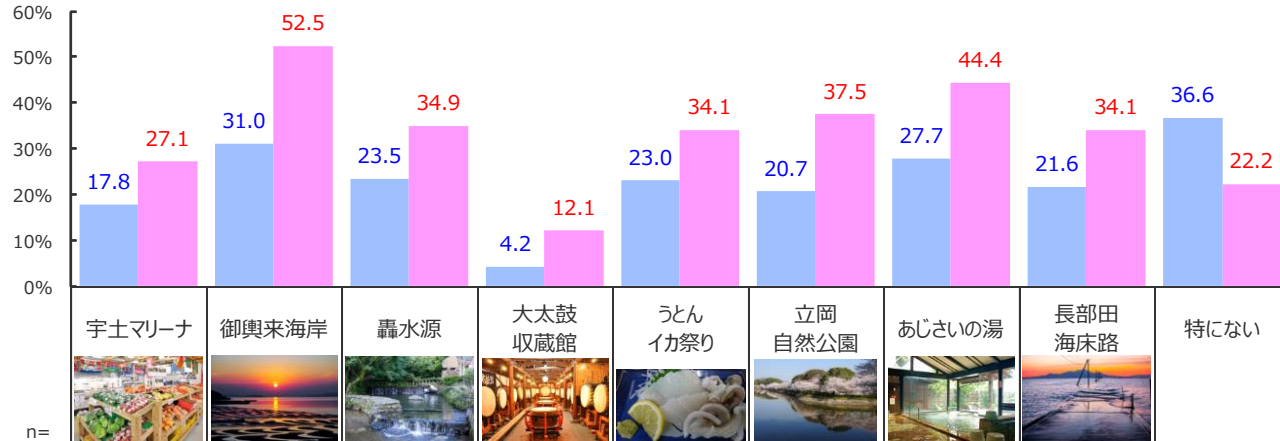
比率 N=30以上で
 全体+10pt以上
 全体+5pt以上
 全体-5pt以下
 全体-10pt以下

◆訪れてみたい観光地や催しは概して女性の方が多く、①御輿来海岸、②あじさいの湯、③立岡自然公園、④轟水源、⑤うとんイカ祭り・長部田海床路の順。

男性は、①御輿来海岸、②あじさいの湯、③轟水源などの順に多い。

更に地域別で見ると、女性では、東京は長部田海床路、大阪は御輿来海岸、長崎は轟水源が他の都府県に比べ多い。

男性では、熊本県(宇土市以外)は宇土マリーナ、鹿児島は長部田海床路が目立つ。



比率 N=30以上で
 全体+10pt以上
 全体+5pt以上
 全体-5pt以下
 全体-10pt以下

「観光地や催しの説明」

宇土マリーナ

敷地内に道の駅、ヨットハーバーが併設。旬の野菜や海産物が購入でき飲食ブースでは新鮮な海産物を使った料理が食べられます。

御輿来海岸

メインシーズンの春先には、多くのカメラマンが夕陽に照らされた三日月型の砂紋の撮影に訪れています。

轟水源

使用されている上水道としては日本最古。現在100軒ほどに水道水として提供されています。

大太鼓収蔵館

平成29年3月に国の重要有形民俗文化財に指定されました。館内には大太鼓26基が収蔵され、自由にたたくことができます。

うとんイカ祭り

市内で水揚げされた「甲いか」「紋甲イカ」を使い、毎年4月～5月にかけて約10数店舗の飲食店で趣向を凝らしたイカ料理が食べられます。

立岡自然公園

県内有数の桜の名所。毎年桜の季節には2千本の桜が咲き乱れ湖面に映る桜が圧巻です。

あじさいの湯

心も体もほっと一息。やわらかな感触の温泉が自慢です。

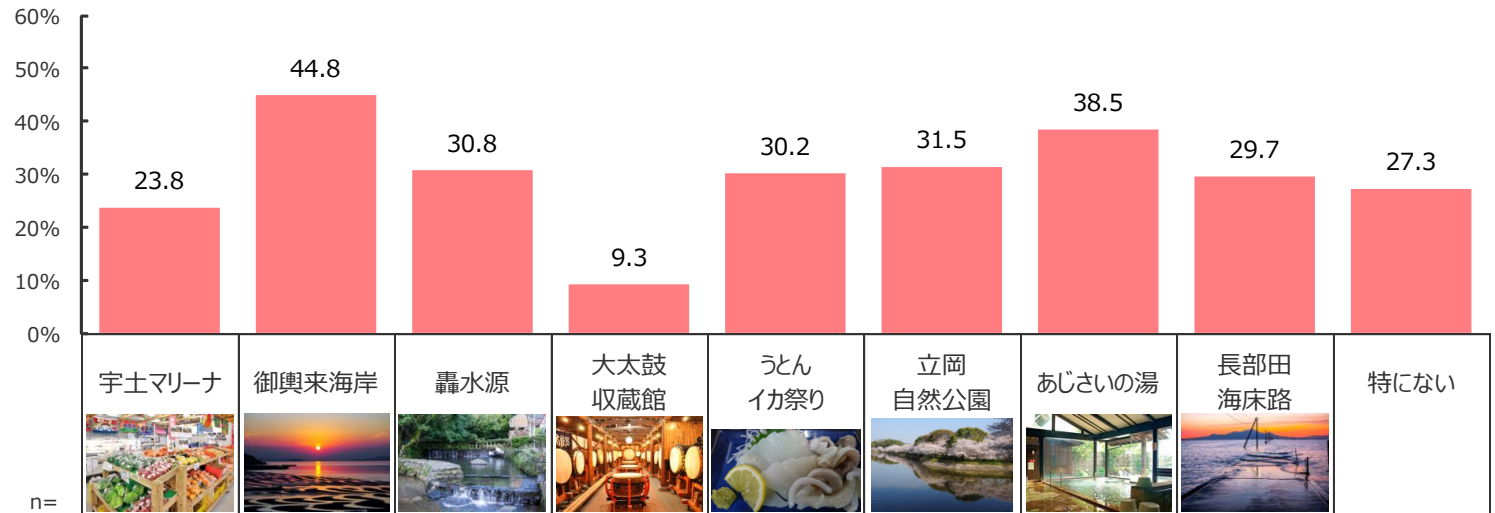
長部田海床路

干潮と満潮の差が大きな有明海。潮が引くと隠れた海床路が現れます。

性別	地域	n	観光地/催し								
			宇土マリーナ	御輿来海岸	轟水源	大太鼓収蔵館	うとんイカ祭り	立岡自然公園	あじさいの湯	長部田海床路	特にない
男	全体	213	17.8	31.0	23.5	4.2	23.0	20.7	27.7	21.6	36.6
	東京都	46	8.7	26.1	19.6	-	23.9	10.9	28.3	15.2	41.3
	大阪府	38	5.3	21.1	15.8	-	23.7	26.3	23.7	13.2	47.4
	福岡県	35	20.0	40.0	17.1	8.6	25.7	14.3	34.3	14.3	25.7
	長崎県	24	20.8	33.3	25.0	8.3	25.0	20.8	45.8	25.0	33.3
	鹿児島県	30	6.7	30.0	33.3	3.3	20.0	26.7	20.0	33.3	40.0
	熊本県(宇土市以外)	40	45.0	37.5	32.5	7.5	20.0	27.5	20.0	32.5	30.0
女	全体	387	27.1	52.5	34.9	12.1	34.1	37.5	44.4	34.1	22.2
	東京都	54	37.0	46.3	27.8	9.3	42.6	46.3	48.1	46.3	25.9
	大阪府	62	29.0	58.1	25.8	9.7	29.0	41.9	45.2	32.3	27.4
	福岡県	65	20.0	56.9	30.8	18.5	36.9	33.8	47.7	38.5	18.5
	長崎県	76	19.7	53.9	47.4	10.5	38.2	32.9	52.6	34.2	17.1
	鹿児島県	70	22.9	42.9	34.3	11.4	34.3	35.7	31.4	28.6	28.6
	熊本県(宇土市以外)	60	38.3	56.7	40.0	13.3	23.3	36.7	41.7	26.7	16.7

※n=30未満は参考値のため灰色表示

◆ ほとんどの観光地や催し（長部田海床路を除く）で、**女性・既婚者・子供あり**の方が多く挙げられている。
とりわけ、**御輿来海岸**、**あじさいの湯**、**立岡自然公園**は**女性**、**うどんイカ祭り**は**既婚者・子供あり**が目立つ。



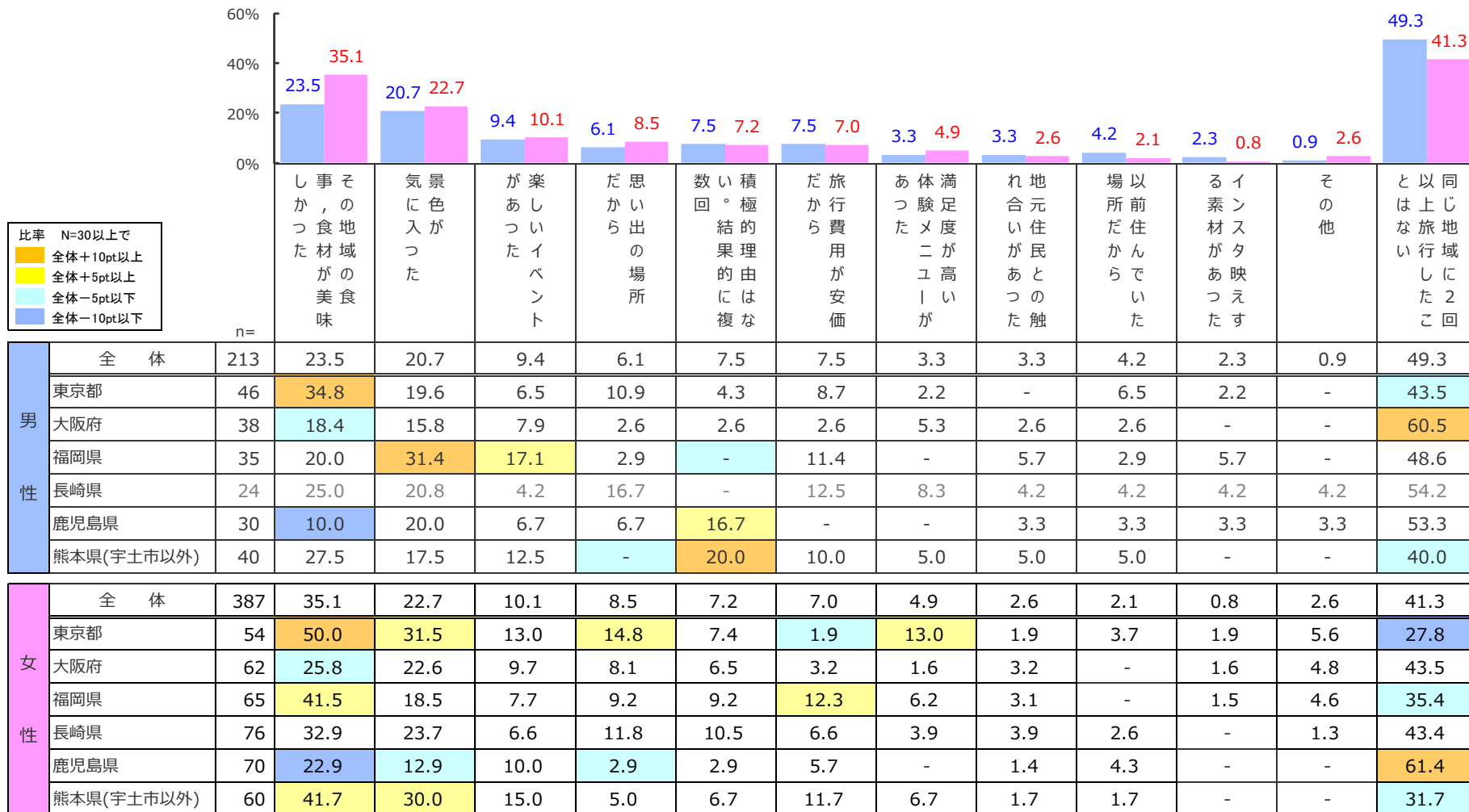
比率 N=30以上で
■ 全体+10pt以上
■ 全体+5pt以上
■ 全体-5pt以下
■ 全体-10pt以下

		n=	宇土マリーナ	御輿来海岸	轟水源	大太鼓収蔵館	うどんイカ祭り	立岡自然公園	あじさいの湯	長部田海床路	特にない
全 体		600	23.8	44.8	30.8	9.3	30.2	31.5	38.5	29.7	27.3
性別	男性	213	17.8	31.0	23.5	4.2	23.0	20.7	27.7	21.6	36.6
	女性	387	27.1	52.5	34.9	12.1	34.1	37.5	44.4	34.1	22.2
婚姻別	未婚	320	19.7	41.3	27.5	7.2	23.8	28.8	35.0	29.7	31.9
	既婚（離別・死別含む）	280	28.6	48.9	34.6	11.8	37.5	34.6	42.5	29.6	22.1
子供の有無別	子供あり	204	27.5	45.6	34.8	12.3	36.8	32.4	39.7	28.9	22.1
	なし	396	22.0	44.4	28.8	7.8	26.8	31.1	37.9	30.1	30.1

同じ地域に2回以上旅行した理由-1

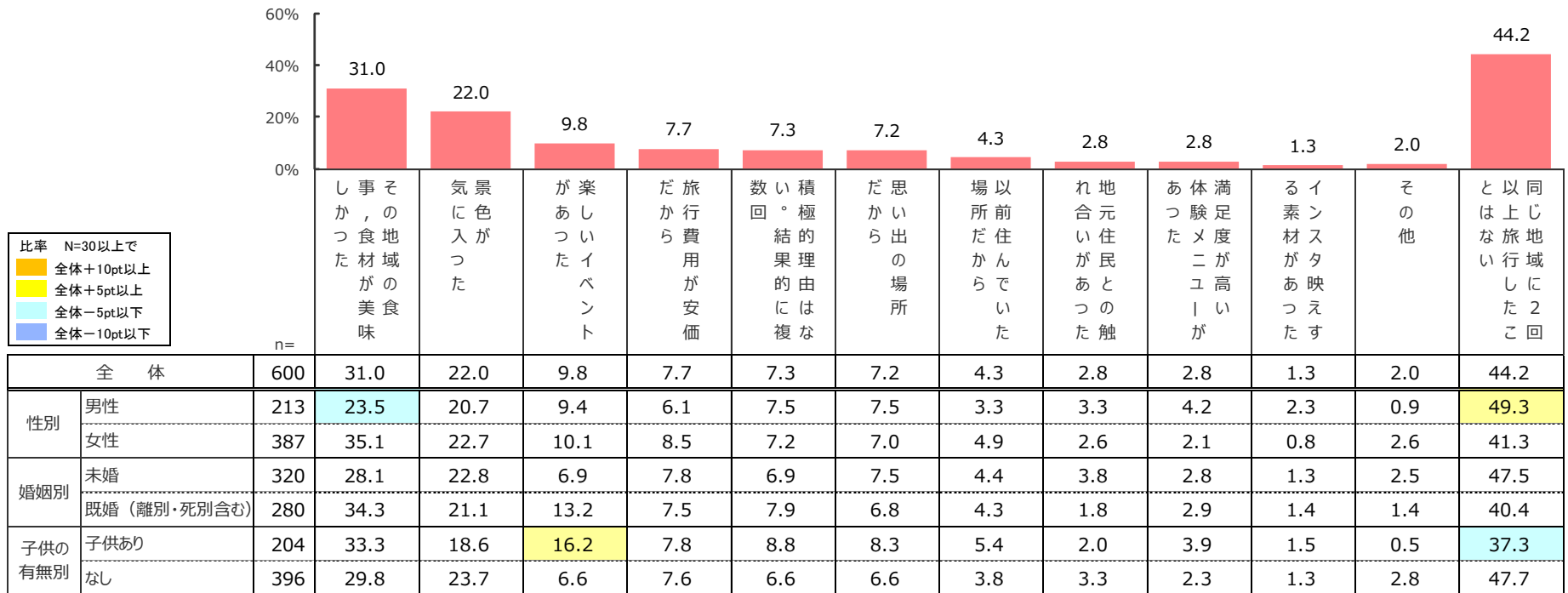
Q5 これまでに宇土市に限らず同じ地域に2回以上旅行で訪れたことがありますか。また、訪れたことがある場合、その理由は何ですか。(3つまで)

- ◆ 同じ地域に2回以上旅行した理由としては、「食事、食材がおいしかった」「景色が気に入った」「楽しいイベントがあった」などであり、女性は「食事、食材」がとくに多い。
「食事、食材」は男女とも東京が多く、鹿児島や大阪が少ない。「景色」は福岡の男性が多く、東京と熊本的女性に多い。



※n=30未満は参考値のため灰色表示

◆ 既婚者・子供ありが比較的多いのは「食事、食材」「楽しいイベント」、子供なしが比較的多いのが「景色」。



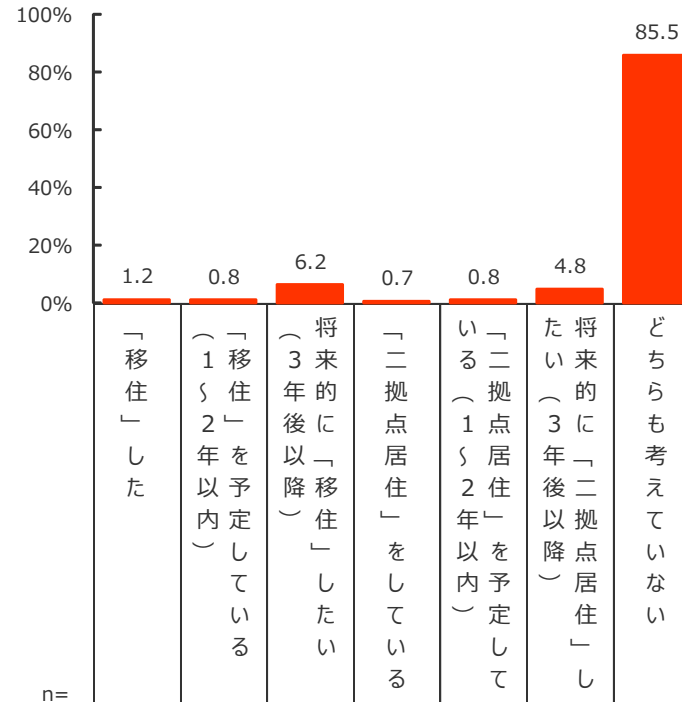
温泉が気に入った
 宿が気に入った
 その地域の観光名所が気に入った
 温泉
 近いから
 小さい頃、家族に連れて行ってもらった為、理由は分からない。
 いろんな温泉があるから
 気に入った温泉や宿泊施設があるため
 スノーボード
 スキー場に馴染みがあったため
 家族旅行で行く場所が毎回同じだった

「移住」・「二拠点居住」の予定

Q6 「移住」・「二拠点居住」を考えていますか。(仕事による転居を除く) (SA)

※二拠点居住とは：2つの生活拠点を持つ生活スタイル
(例) 平日都会で働き、週末に田舎の家で暮らすこと。

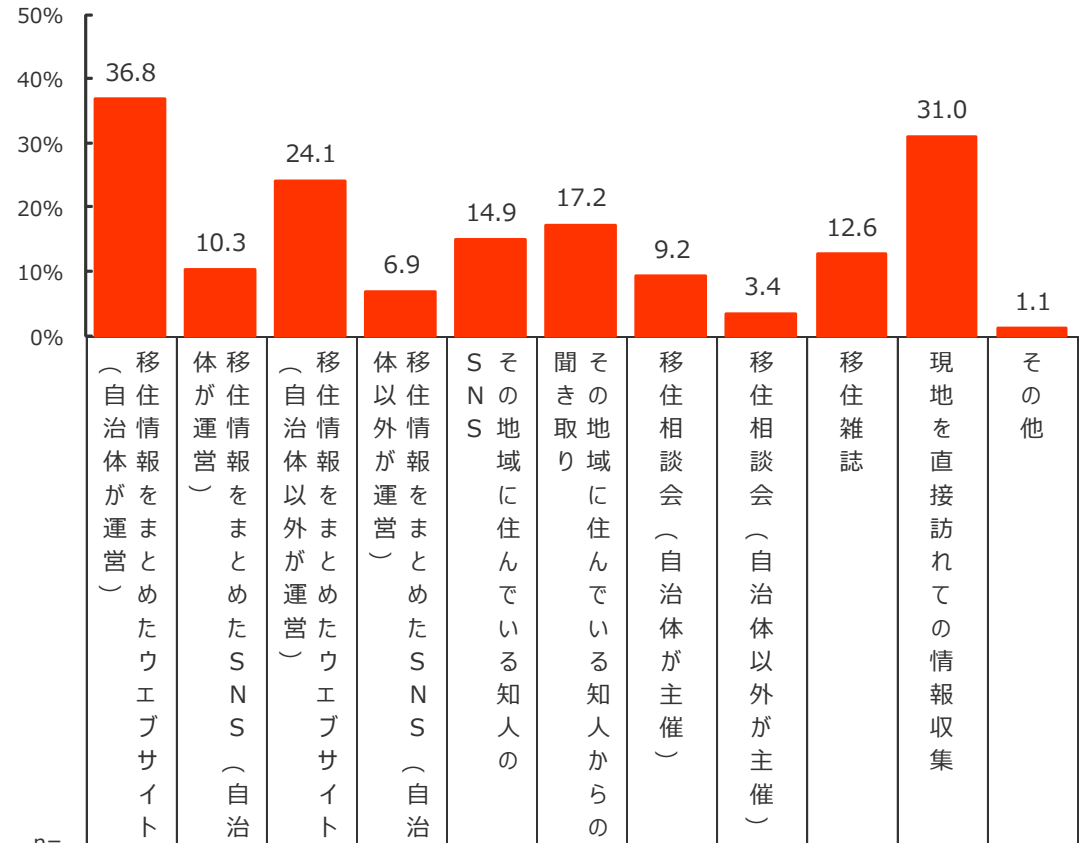
◆「移住」・「二拠点居住」を予定している(した)人は15%、**東京・福岡**に多く**鹿児島**に少ない。また、**男性**と**既婚者**が多い。



比率 N=30以上で
 ■ 全体+10pt以上
 ■ 全体+5pt以上
 ■ 全体-5pt以下
 ■ 全体-10pt以下

		n=	「移住」した	「1〜2年以内」を予定している	将来的に「移住」したい(3年後以降)	「二拠点居住」をしている	「1〜2年以内」を予定している	将来的に「二拠点居住」したい(3年後以降)	どちらも考えていない	「移住」計	「二拠点居住」計	「移住」・「二拠点居住」計
全体		600	1.2	0.8	6.2	0.7	0.8	4.8	85.5	8.2	6.3	14.5
居住地別	東京都	100	1.0	-	10.0	1.0	-	9.0	79.0	11.0	10.0	21.0
	大阪府	100	-	1.0	6.0	2.0	2.0	5.0	84.0	7.0	9.0	16.0
	福岡県	100	3.0	-	10.0	-	2.0	5.0	80.0	13.0	7.0	20.0
	長崎県	100	1.0	1.0	5.0	-	1.0	7.0	85.0	7.0	8.0	15.0
	鹿児島県	100	-	-	3.0	1.0	-	1.0	95.0	3.0	2.0	5.0
	熊本県(宇土市以外)	100	2.0	3.0	3.0	-	-	2.0	90.0	8.0	2.0	10.0
性別	男性	213	2.3	1.9	4.2	0.9	0.9	5.6	84.0	8.5	7.5	16.0
	女性	387	0.5	0.3	7.2	0.5	0.8	4.4	86.3	8.0	5.7	13.7
婚姻別	未婚	320	1.3	0.6	5.9	0.3	0.6	5.0	86.3	7.8	5.9	13.8
	既婚(離別・死別含む)	280	1.1	1.1	6.4	1.1	1.1	4.6	84.6	8.6	6.8	15.4
子供の有無別	子供あり	204	1.0	1.5	4.9	1.0	1.5	4.4	85.8	7.4	6.9	14.2
	なし	396	1.3	0.5	6.8	0.5	0.5	5.1	85.4	8.6	6.1	14.6

◆「移住」・「二拠点居住」の情報入手経路は、自治体運営の移住情報ウェブサイトが最も多く、次いで現地訪問、自治体以外が運営する移住情報ウェブサイト。



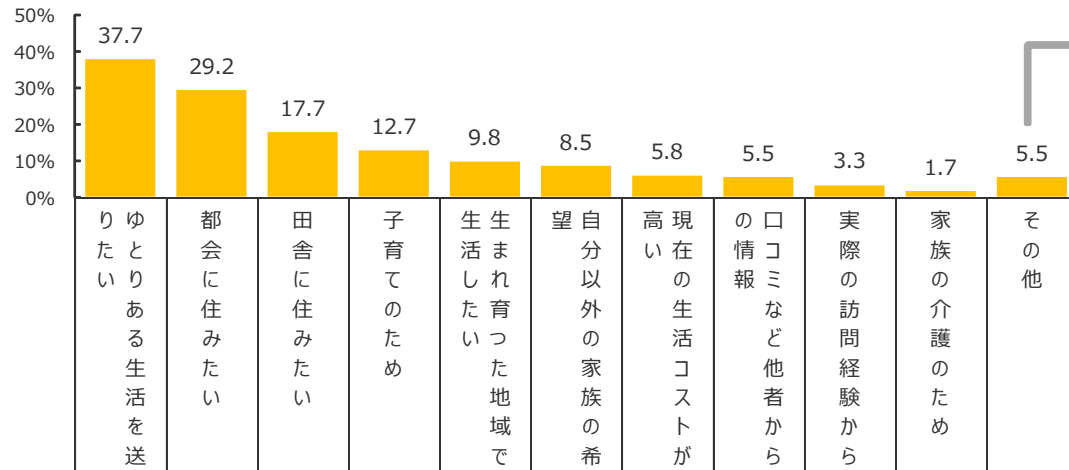
	n=	自治体運営の移住情報ウェブサイト	自治体以外が運営する移住情報ウェブサイト	現地を直接訪れての情報収集	移住相談会(自治体以外が主催)	聞き取り	移住相談会(自治体が主催)	SNS(地域に住んでいる知人の)	移住情報まとめたSNS(自治体以外が運営)	移住情報まとめたSNS(自治体以外が運営)	その他
全 体	87	36.8	10.3	31.0	12.6	17.2	9.2	14.9	6.9	10.3	1.1
東京都	21	38.1	14.3	28.6	4.8	19.0	9.5	23.8	9.5	-	-
大阪府	16	50.0	6.3	12.5	18.8	18.8	6.3	6.3	-	6.3	6.3
福岡県	20	20.0	5.0	45.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	-
長崎県	15	40.0	20.0	40.0	6.7	13.3	6.7	13.3	6.7	-	-
鹿児島県	5	60.0	-	-	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	-
熊本県(宇土市以外)	10	30.0	10.0	40.0	30.0	10.0	-	20.0	10.0	-	-

※n=30未満は参考値のため灰色。

「移住」・「二拠点居住」をしたい理由

Q8 「移住」・「二拠点居住」をしたい理由は何ですか。(3つまで)
 (現時点で「移住」・「二拠点居住」を考えていない方は、
 仮に「移住」・「二拠点居住」をするとしてご回答ください。)

- ◆ 「移住」・「二拠点居住」をしたい理由としては、「ゆとりある生活」「都会に住みたい」「田舎に住みたい」「子育てのため」などの順に多い。
- 「ゆとりある生活」は長崎、「都会に住みたい」は大阪が目立ち、「田舎に住みたい」は東京にやや多い。
- 男性は「都会」「田舎」ともに女性に比べ多く、既婚者・子供ありは「子育てのため」が多い。
- 「移住」・「二拠点居住」の予定者は「ゆとりある生活」「田舎に住みたい」「現在の生活コストが高い」が多いのが特徴的であり、より現実的な理由と考えられる。



家を新築で建てるため
 ONOFF切り替えのため
 現在住んでいる地域が自分に合わない
 友人がいるから
 ディズニーリゾートに行きたい
 現在住んでる市が嫌いなので
 以前住んでいた所に住みたい

比率 N=30以上で
 全体+10pt以上
 全体+5pt以上
 全体-5pt以下
 全体-10pt以下

		n=	37.7	29.2	17.7	12.7	9.8	8.5	5.8	5.5	3.3	1.7	5.5	平均回答個数
			りゆ	都会	田	子	生	望	高	の	実	家	そ	
			た	に	舎	育	活	自	現	口	際	族	他	
			と	に	に	て	ま	分	い	情	の	の	の	
			あ	住	住	の	し	以	在	コ	訪	介	の	
			る	み	み	た	れ	外	の	報	問	護	た	
			生	た	た	め	育	の	生	ミ	経	の	め	
			活	い	い		つ	家	活	な	験	た		
			を	たい	たい		いた	族	コ	ど	か	め		
			送				地	の	ス	他	ら			
			り				域	希	ト	者				
			ゆ				で		が	か				
			と							ら				
			あ											
			る											
			生											
			活											
			を											
			送											
			り											
			ゆ											
			と											
			あ											
			る											
			生											
			活											
			を											
			送											
全体	600	37.7	29.2	17.7	12.7	9.8	8.5	5.8	5.5	3.3	1.7	5.5	1.37	
居住地別	東京都	100	39.0	31.0	22.0	9.0	9.0	9.0	9.0	5.0	1.0	-	2.0	1.36
	大阪府	100	35.0	37.0	19.0	15.0	2.0	9.0	7.0	6.0	3.0	2.0	1.0	1.36
	福岡県	100	38.0	28.0	17.0	17.0	10.0	5.0	4.0	4.0	3.0	3.0	8.0	1.37
	長崎県	100	44.0	26.0	13.0	8.0	9.0	9.0	7.0	9.0	6.0	2.0	6.0	1.39
	鹿児島県	100	36.0	23.0	19.0	15.0	15.0	11.0	6.0	4.0	4.0	1.0	7.0	1.41
	熊本県(宇土市以外)	100	34.0	30.0	16.0	12.0	14.0	8.0	2.0	5.0	3.0	2.0	9.0	1.35
性別	男性	213	32.4	37.1	23.0	6.6	8.0	5.6	6.6	4.7	4.2	1.9	6.1	1.36
	女性	387	40.6	24.8	14.7	16.0	10.9	10.1	5.4	5.9	2.8	1.6	5.2	1.38
婚姻別	未婚	320	37.5	33.4	17.8	3.1	9.7	7.2	6.6	5.0	3.4	1.3	6.3	1.31
	既婚(離別・死別含む)	280	37.9	24.3	17.5	23.6	10.0	10.0	5.0	6.1	3.2	2.1	4.6	1.44
子供の有無別	子供あり	204	36.8	20.6	16.2	28.4	10.3	9.3	5.4	7.4	2.9	2.5	4.4	1.44
	なし	396	38.1	33.6	18.4	4.5	9.6	8.1	6.1	4.5	3.5	1.3	6.1	1.34
「移住」 「二拠点居住」	考えている	87	47.1	24.1	31.0	9.2	9.2	9.2	11.5	3.4	5.7	2.3	5.7	1.59
	どちらも考えていない	513	36.1	30.0	15.4	13.3	9.9	8.4	4.9	5.8	2.9	1.6	5.5	1.34

全体に比べ多い

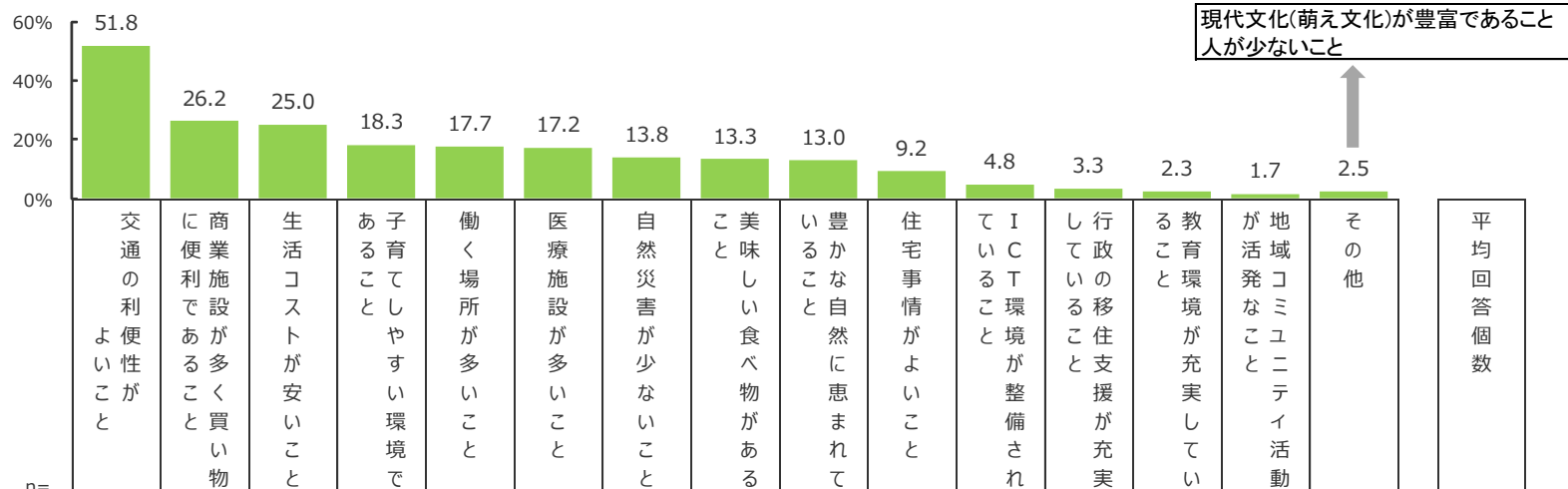
「移住」・「二拠点居住」をする場合の重視点

Q9 「移住」・「二拠点居住」をする場合、どのようなことを重視しますか。(3つまで)
 (現時点で「移住」・「二拠点居住」を考えていない方は、仮に「移住」・「二拠点居住」をするとしてご回答ください。)

◆「移住」・「二拠点居住」をする場合の重視点は、「交通の利便性」が半数以上に挙げられており、次いで「買い物が便利」「生活コストが安い」で4人に1人が挙げている。

長崎は「生活コスト」と「働く場所が多いこと」が目立つ。既婚者・子供ありは「子育てしやすい環境」がとくに多い。

「移住」・「二拠点居住」の予定者は「豊かな自然に恵まれていること」「自然災害が少ないこと」が多いのが特徴的。



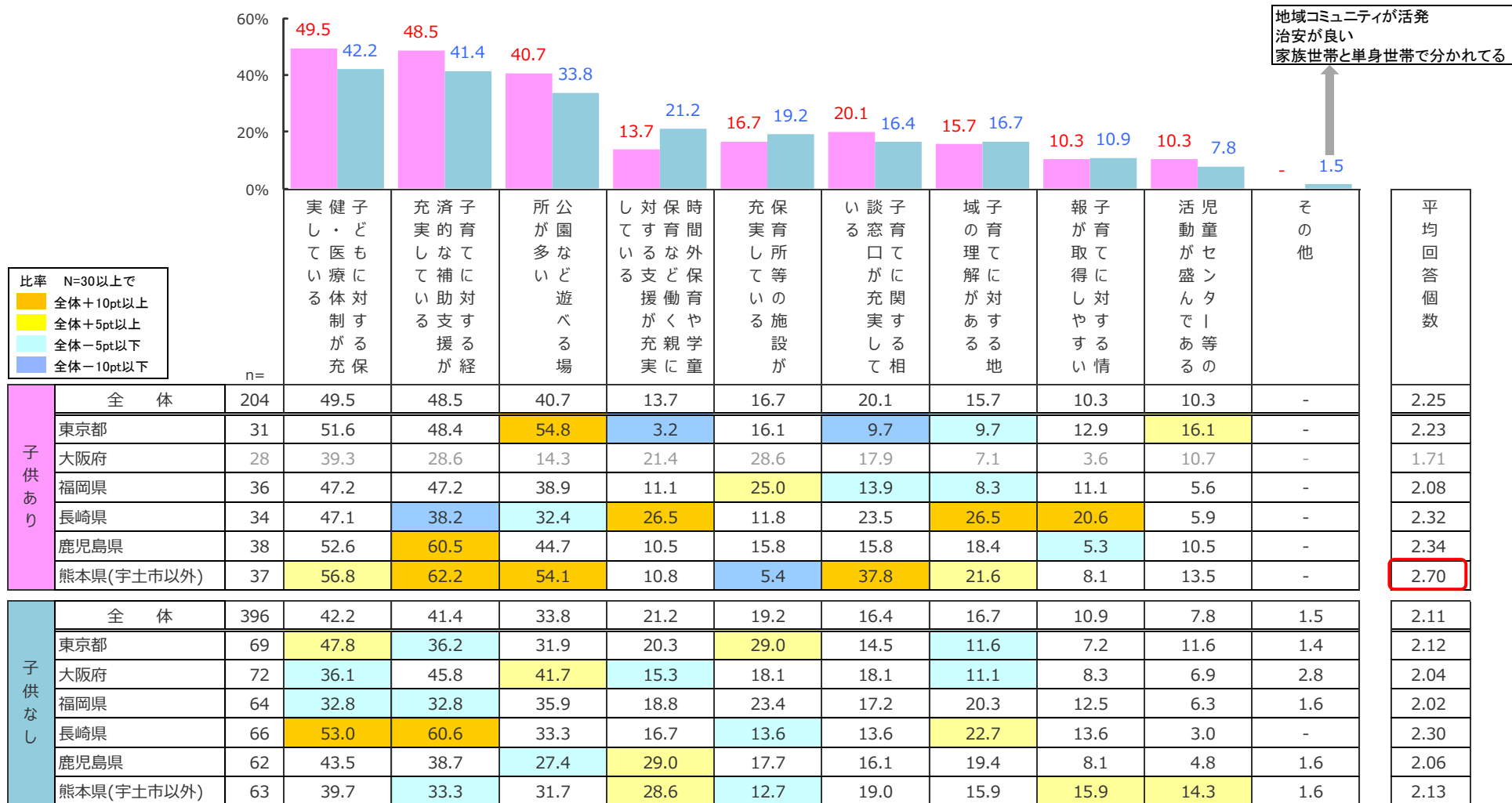
現代文化(萌え文化)が豊富であること
人が少ないこと

比率 N=30以上で
 全体+10pt以上
 全体+5pt以上
 全体-5pt以下
 全体-10pt以下

		n=	51.8	26.2	25.0	18.3	17.7	17.2	13.8	13.3	13.0	9.2	4.8	3.3	2.3	1.7	2.5	平均回答個数
全体		600	51.8	26.2	25.0	18.3	17.7	17.2	13.8	13.3	13.0	9.2	4.8	3.3	2.3	1.7	2.5	2.20
居住地別	東京都	100	56.0	29.0	20.0	16.0	16.0	22.0	13.0	15.0	16.0	10.0	3.0	6.0	1.0	4.0	1.0	2.28
	大阪府	100	54.0	28.0	16.0	13.0	9.0	15.0	9.0	13.0	15.0	14.0	6.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.96
	福岡県	100	53.0	19.0	22.0	18.0	18.0	14.0	15.0	17.0	9.0	9.0	5.0	4.0	4.0	3.0	3.0	2.13
	長崎県	100	49.0	28.0	34.0	21.0	30.0	18.0	17.0	15.0	10.0	7.0	3.0	5.0	2.0	1.0	1.0	2.41
	鹿児島県	100	45.0	25.0	26.0	22.0	20.0	17.0	12.0	6.0	15.0	7.0	9.0	1.0	3.0	-	6.0	2.14
	熊本県(宇土市以外)	100	54.0	28.0	32.0	20.0	13.0	17.0	17.0	14.0	13.0	8.0	3.0	3.0	3.0	1.0	3.0	2.29
性別	男性	213	54.9	25.8	16.4	11.7	17.4	14.6	9.9	13.1	10.8	9.4	8.0	3.3	1.9	1.9	3.8	2.03
	女性	387	50.1	26.4	29.7	22.0	17.8	18.6	16.0	13.4	14.2	9.0	3.1	3.4	2.6	1.6	1.8	2.30
婚姻別	未婚	320	56.3	28.1	26.9	7.2	21.9	15.6	12.8	11.6	14.7	8.4	5.0	3.4	1.6	1.9	3.1	2.18
	既婚(離別・死別含む)	280	46.8	23.9	22.9	31.1	12.9	18.9	15.0	15.4	11.1	10.0	4.6	3.2	3.2	1.4	1.8	2.22
子供の有無別	子供あり	204	41.7	23.0	23.0	35.8	10.8	19.1	15.7	15.2	11.3	8.8	4.4	2.5	2.9	1.5	1.5	2.17
	なし	396	57.1	27.8	26.0	9.3	21.2	16.2	12.9	12.4	13.9	9.3	5.1	3.8	2.0	1.8	3.0	2.22
「移住」 「二拠点居住」	考えている	87	40.2	25.3	21.8	20.7	20.7	16.1	23.0	16.1	25.3	9.2	3.4	4.6	-	3.4	2.3	2.32
	どちらも考えていない	513	53.8	26.3	25.5	17.9	17.2	17.3	12.3	12.9	10.9	9.2	5.1	3.1	2.7	1.4	2.5	2.18

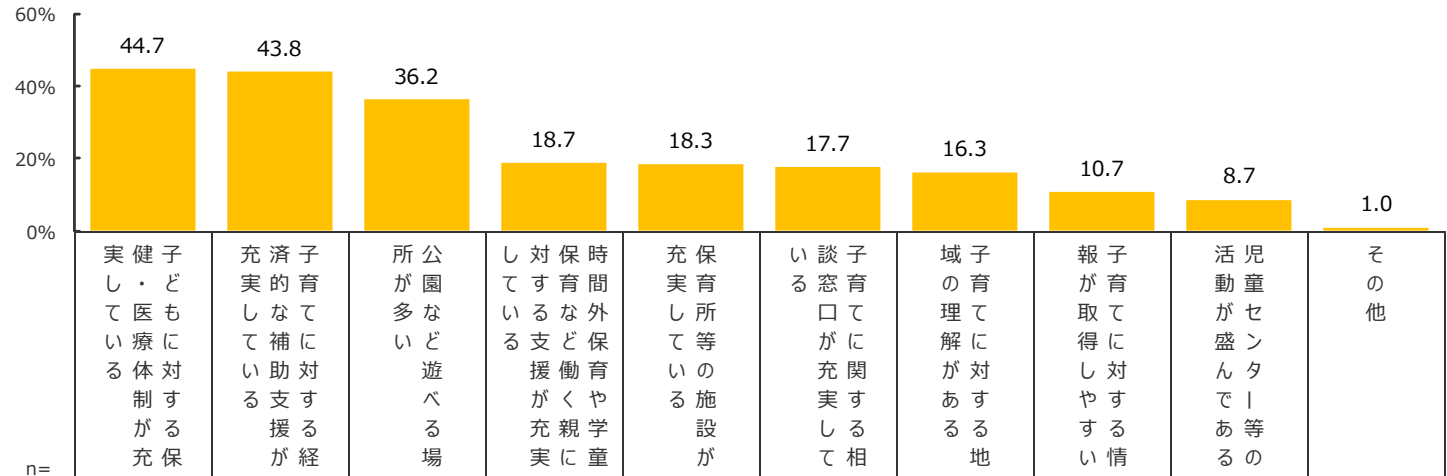
◆「子育てしやすいまち」の環境要素としては「保健・医療体制の充実」「経済的な補助支援の充実」「公園など遊べる場所が多い」の3要素が主に挙げられている。

とくに熊本県(宇土市以外)の子供ありはこの3要素が多く、「相談窓口の充実」「地域の理解」なども含め多くの要素を挙げている。また、長崎県は「働く親に対する支援の充実」「地域の理解」「子育て情報取得のしやすさ」を多く挙げている。



※n=30未満は参考値のため灰色。

◆「移住」・「二拠点居住」の予定者は「保健・医療体制の充実」「経済的な補助支援の充実」や「地域の理解」「子育て情報取得のしやすさ」を多く挙げて
いる点が特徴的。



比率 N=30以上で
■ 全体+10pt以上
■ 全体+5pt以上
■ 全体-5pt以下
■ 全体-10pt以下

		n=	実健子 し・ど て医も る療対 制す がる 充保	充済子 实的育 しなて て補に い助対 る支す 援る が経	所公 が園 多な いど 遊 べる る場	し対保時 てす育間 いるな外 る支ど保 援働育 がくや 充親学 実に童	充保育 し所等 いの施 る設 が	い談子 る窓育 口て がに 充関 実す しる て相	域子 の育 理て が対 あす る地	報子 が育 取て 得に し対 やす する い情	活児 動童 がセ 盛ン タ でー あ等 るの	そ の 他	平均 回 答 個 数
全 体		600	44.7	43.8	36.2	18.7	18.3	17.7	16.3	10.7	8.7	1.0	2.16
性別	男性	213	38.0	37.1	35.2	16.0	15.5	18.8	12.2	9.4	9.4	2.3	1.94
	女性	387	48.3	47.5	36.7	20.2	19.9	17.1	18.6	11.4	8.3	0.3	2.28
婚姻別	未婚	320	40.6	38.1	34.7	20.9	19.1	15.9	15.9	9.7	7.5	1.9	2.04
	既婚 (離別・死別含む)	280	49.3	50.4	37.9	16.1	17.5	19.6	16.8	11.8	10.0	0.0	2.29
子供の 有無別	子供あり	204	49.5	48.5	40.7	13.7	16.7	20.1	15.7	10.3	10.3	0.0	2.25
	なし	396	42.2	41.4	33.8	21.2	19.2	16.4	16.7	10.9	7.8	1.5	2.11
「移住」 「二拠点居住」	考えている	87	54.0	49.4	37.9	13.8	14.9	10.3	21.8	16.1	11.5	0.0	2.30
	どちらも考えていない	513	43.1	42.9	35.9	19.5	18.9	18.9	15.4	9.7	8.2	1.2	2.14